

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 28 日 (2019.11.28)

【公開番号】特開 2019-96347 (P2019-96347A)

【公開日】令和 1 年 6 月 20 日 (2019.6.20)

【年通号数】公開・登録公報 2019-023

【出願番号】特願 2019-27831 (P2019-27831)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/01 (2006.01)

A 6 3 F 13/285 (2014.01)

A 6 3 F 13/428 (2014.01)

A 6 3 F 13/426 (2014.01)

A 6 3 F 13/2145 (2014.01)

A 6 3 F 13/533 (2014.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/01 5 6 0

G 0 6 F 3/01 5 7 0

A 6 3 F 13/285

A 6 3 F 13/428

A 6 3 F 13/426

A 6 3 F 13/2145

A 6 3 F 13/533

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 17 日 (2019.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

触覚刺激を提供するように構成されたシステムであって、

ユーザの操作ジェスチャに関連する出力信号を生成するように構成されたユーザインタフェースと、

前記ユーザへの触覚刺激を生成するように構成されたアクチュエータと、

コンピュータプログラム命令を実行するように構成された一又は複数のプロセッサとを備え、前記コンピュータプログラム命令は、

前記ユーザインタフェースによって生成された出力信号を受信し、

前記出力信号に基づいて前記操作ジェスチャの実行を監視し、

生成される前記操作ジェスチャに関連付けられた触覚刺激を決定し、

前記アクチュエータを制御して前記触覚刺激を生成するように構成され、

前記操作ジェスチャは冒頭ポーション、第一の中間ポーション、及び終端ポーションを含み、

前記触覚刺激は前記操作ジェスチャの第一の中間ポーションの実行に応答して決定される第一の刺激を含む、システム。

【請求項 2】

前記ユーザインタフェースは、空間における動きから前記操作ジェスチャを検出するように構成されたセンサを含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記操作ジェスチャの実行に関連付けられた前記触覚刺激は、前記操作ジェスチャが実行されたシステムコンテキストとは別である、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記触覚刺激は、前記操作ジェスチャの冒頭ポーションの実行に応答する第二の刺激をさらに含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記触覚刺激は、前記操作ジェスチャの終端ポーションの実行に応答する第三の刺激をさらに含む、請求項 4 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記ユーザインタフェースは、前記操作ジェスチャを受けるように構成されたタッチスクリーンを含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

コンピュータプログラム命令を実行するように構成された前記一又は複数のプロセッサはさらに、前記操作ジェスチャの第一の中間ポーションの現在継続中の実行にしたがって前記第一の刺激を調整するように構成された、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】

システムにおいて触覚刺激を提供するコンピュータ実装可能な方法であって、
ユーザの操作ジェスチャに関連する出力信号をユーザインタフェースによって生成する工程と、
前記ユーザインタフェースによって生成された出力信号をプロセッサにおいて受信する工程と、
前記出力信号に基づいて前記ユーザによる前記システムに対する前記操作ジェスチャの実行を監視する工程と、
前記操作ジェスチャの実行に関連付けられた触覚刺激を決定する工程と、
アクチュエータを制御して前記触覚刺激を生成する工程と
を備え、
前記操作ジェスチャは冒頭ポーション、第一の中間ポーション、及び終端ポーションを含み、
前記触覚刺激は前記操作ジェスチャの第一の中間ポーションの実行に応答して決定される第一の刺激を含む、方法。

【請求項 9】

前記ユーザインタフェースのセンサによって、空間における動きから前記操作ジェスチャを検出する工程をさらに含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記操作ジェスチャの実行に関連付けられた前記触覚刺激が、前記操作ジェスチャが実行されたシステムコンテキストとは別であることを決定する工程をさらに備える、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 11】

前記触覚刺激が、前記操作ジェスチャの冒頭ポーションの実行に応答する第二の刺激を含むことを決定する工程をさらに備える、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 12】

前記触覚刺激が、前記操作ジェスチャの終端ポーションの実行に応答する第三の刺激を含むことを決定する工程をさらに備える、請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

タッチスクリーンを含むユーザインタフェースにおいて前記操作ジェスチャを受ける工程をさらに備える、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 14】

前記操作ジェスチャの第一の中間ポーションの現在継続中の実行にしたがって前記第一の刺激を調整する工程をさらに備える、請求項 8 に記載の方法。

